

令和4年度 第1回 長野市歴史的風致維持向上協議会

会議記録（概要）

日 時：令和4年8月9日（火）

午前10時から正午まで

場 所：長野市役所第一庁舎7階

議会事務局 第1委員会室

●出席委員 14名

石黒委員、北村委員、久米委員、小林委員、土本委員、宮下委員、若山委員
清水委員、長尾委員、古畑委員、徳武委員、久保委員、北澤委員、藤沢委員

●欠席委員 1名

金子委員

1 開 会

定足数の確認

2 事務局自己紹介

3 委員自己紹介

4 会長及び職務代理者選出

会長に 北村 正博 委員、職務代理者に 宮下 健司 委員を選出

5 諮 問

長野市歴史的風致維持向上計画の令和4年度 進行管理・評価
及び計画の変更について

6 協 議

(1) 長野市歴史的風致維持向上計画（歴まち計画）の概要

(2) 歴まち計画の進行管理・評価及び計画の変更について（諮問内容説明）

・説 明	事務局：資料1、2により、『長野市歴史的風致維持向上計画の概要』及び諮問『長野市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価及び計画の変更について』補足を説明。
・意見等	なし

(3) 令和4年度の歴まち計画に係る事業について

・説明	事務局：資料3-1、3-2により、『令和4年度の歴まち計画に係る事業について』説明。
・意見 (委員)	<p>「MK11 旧松代駅舎保存活用事業」について、私は松代駅舎の建物調査を実施し、その価値並びに利活用を地元の人々と共有してきた。</p> <p>説明の中で「撤去」という言葉がでてきたが、松代駅舎を取り壊し更地にすることは、やってはいけない。歴まち計画に関連する国の支援等を有効活用し、計画記載のとおり内部の改修と外観の修理を行った上で、利活用すべきである。</p> <p>松代駅舎の取り扱いについて、もう一度、ゼロから検討し直していただきたい。価値ある建造物を壊してはならない。</p>
・回答 (市)	<p>(松代駅舎の取り扱いに関するこれまでの経過について、史跡松代城跡第二期整備計画等を含めた説明の上)</p> <p>地元住民自治協議会では、長きに渡る検討や意見交換の結果、要望している城北側を通るアクセス道路の安全確保を最優先するために、旧松代駅舎上を通るルートにアクセス道路を建設すべきだとの結論に達し、市長あてにその旨の意見書の提出があったものです。</p> <p>現在は、その意見書を尊重し、アクセス道路をつくるための地元説明を始めていく段階であり、設定したルートとなるかどうかは今後の結論によるところでもあります。現在の状況ですと、その他迂回ルートが設定できないことから、旧松代駅舎の上を通るルートにせざるをえない状況です。</p>
・意見 (委員)	<p>道路に関しては一応理解できるが、再検討の余地もあると伺える。道路のルート設定について再検討いただきたいのが第1の要望である。</p> <p>もう一つは、撤去の意味する建造物の破壊を考え直していただきたい。もしどうしても「残せない」ならば、曳家等の手法を含めて再考して欲しい。</p> <p>旧松代駅舎は、景観的にも非常に価値がある建造物であり、木造建築物としても構造が非常に特徴的であり、もろもろの価値が高い建造物であると認識している。</p> <p>よって、形態的にゼロにしてしまうことをここで止めて欲しい。もちろん現地保存の方が価値は高いが、曳家も含めて道路の再検討も併せて行うべきである。</p> <p>この2点を提案する。</p>
・回答 (市)	<p>御提案いただいた内容について、一つの方法として捉えております。</p> <p>今後、今の御意見を踏まえて、また他の方法がないかどうかにつきましても、引き続き検討して参りたいと思っております。</p>

・意見 (委員) 私も今の委員の御意見に全面的に賛同するものであり、地元の者として意見を述べる。

旧松代駅舎は、私ども地元にとっても大変重要な施設であり、以前のアンケート結果では、79.9%の人が旧駅舎を残してぜひ町のシンボルとして活用して欲しいとの結果であった。今年の駅舎建造 100 周年記念イベントも大変盛り上がった。

旧松代駅舎は、100 年前に今の長野電鉄、旧河東鉄道が開通した当初の駅舎であり、三角形の形を駆使して加工し、大きな空間を確保する西欧伝来のトラス構造が駆使された、100 年前にしては非常にモダンで斬新でおしゃれな建造物である。

長野電鉄においては主要な基幹駅舎にのみ設けられていた、このトラス構造が残っているのは、旧松代駅舎と旧湯田中駅舎の 2ヶ所になるが、旧湯田中駅舎は地元山ノ内町によって全面的に保存復元整備され、今は国の登録有形文化財となっている。ただし、旧湯田中駅舎は長野電鉄創業時の駅舎ではなく昭和時代の建造物であり、一方、旧松代駅舎は大正時代のものである。長野電鉄創業時 1 年目の駅舎が残っていることはすごいことであり、旧松代駅舎は大変な重要な歴史的建造物であると思う。

更に言うと、松代地区は、江戸時代の遺構は非常に重要視されており、松代城をはじめ武家屋敷など非常に多くの復元整備がされている一方、近代以降、明治大正時代に建てられた学校・役場・病院・製糸工場等の公共的建築は、ほぼ全滅状態にあり、その最後の砦が旧松代駅舎である。かつて製糸の町として非常に栄えた松代において、その物流を支えた近代産業遺産としてかんがみても、旧松代駅舎の解体撤去は有り得ない。

まずは実測し図面を残し、一旦解体というのは致し方ないのかもしれないが、部材を保存、全部保存でなくても主要部材を保存し、図面を基に、新たな新材を加えて、再生することも可能かと思う。幸い、松代地区には再現可能な市の土地もあるので、将来的に、例えば真田邸南側に旧松代駅舎を再現しても良いのではないかと思う。

結論として、地元としても 80%の人が保存活用を願っており、ぜひ解体撤去でそのまま壊してしまうことだけは無いよう、くれぐれもお願いしたい。

・回答 (市) 市としましては、地元住民自治協議会からの回答であるため、意見が二分しているという受け取りはできないのですが、地元の中が、旧松代駅舎を残したいという御意見と道路をつくってもらいたい御意見で分かれていることは大変悩ましい状況であり、今の移築、部材保存で移築再現もありということであれば、お互いの意見が共存できる御提案であると思いますので、どのような方法がとれるか、どういう形で進めば良いか、改めて市で検討し、また地元の皆さんとも、これから順次話が進んでいく中で、御意見をお聞きし、一番良い形、皆さんが納得できる形になればと思います。

<p>・意見 (委員)</p>	<p>意見が二分しているのは確かであるが、現地保存か否かで意見が二分しているというのが正確な言い方だと思う。曳家、移築、将来的な再現であれば、反対者はいないと思う。</p> <p>現地保存で意見が二分していると理解いただけたらと思う。</p>
<p>・意見 (委員)</p>	<p>「MK5 伝統環境保存事業」について、最近、伝統環境保存区域（松代）に新築の住戸建設が多くなり、近代的な家が建ってきている。</p> <p>松代が持つ武家屋敷群や情緒豊かな歴史的町並みといった歴史的風致を維持向上する目的から、もう少し何か手が打てないのか。</p>
<p>・回答 (市)</p>	<p>伝統環境保存事業は、市の伝統環境保存条例に基づき、区域内で新築、改修がある場合、周辺環境に調和するよう、あくまで助言、指導をするところまでとなっており、それ以上の強制力がないため、強くお願いして御理解をいただいて新築いただくというところまでとなっております。</p>
<p>・回答 (市)</p>	<p>近年、住民の世代替わりが始まり、屋敷の保存、継承が困難な状況の下、敷地が売却され、新たに分譲されるケースが区域内で増えております。</p> <p>そのため、市では、新築や改修の場合、色味を合わせてもらい奇抜な色にならないよう調整を行っておりますが、規制や屋敷の保存というところまでは現条例では不可能であり、あくまでも景観を合わせるところまでしかできないものです。</p> <p>伝統環境保存条例に基づくこの区域について、今後どうしていくべきか再検討を開始したところです。</p>
<p>・意見 (委員)</p>	<p>「K2 鬼無里地域の伝統的な祭礼等PR事業」について、今年、鬼無里の諏訪神社で御柱祭が行われましたが、御柱祭の一連の記録を残そうと大学生と一緒に活動している。</p> <p>その活動において、記録の利活用を検討する中で、今後コーディネーター派遣事業などをお願いする可能性があるかと思うので、よろしくお願ひしたい。</p>
<p>・回答 (市)</p>	<p>鬼無里支所とも連携を図り、支援して参ります。</p>
<p>・質問 (委員)</p>	<p>「N4 空き家バンク事業」は、重点地域の空き家所有者と古い空き家を探している方をマッチングさせるだけの事業になるのか。歴史的風致の維持向上に繋がる空き家バンク制度になっているのか、詳細を聞かせて欲しい。</p>
<p>・回答 (市)</p>	<p>空き家バンク事業は、特に歴史的風致に直結している制度ではなく、市全体として、空き家を売りたい方と借りたい方を繋げる制度です。</p> <p>松代や鬼無里などの重点区域内にある物件の登録があった場合は、基本的には他地域の物件と同じ扱いとなりますが、長野市歴史的風致維持向上計画の重点区域にある物件であることは、交渉の中で説明しております。</p>

<p>・意見 (委員)</p>	<p>既存建物の現況調査を行い、古い建物の評価をガイダンス的な情報として提供しないと、一般の方が賃貸等の交渉を行うことは危険であると考えます。</p> <p>市が空き家を紹介して、古い建物の活用促進を目的とするならば、建物に対しての詳細な説明やガイダンスがもう少しあった方が良いと思う。</p> <p>話が進んでからの交渉不成立を防ぐ意味でも、空き家バンク制度について、もう少し突っ込んで建物調査を行い、ガイダンスするようなことを今後検討いただきたい。</p>
<p>・回答 (市)</p>	<p>売買等の取引に関しまして、物件によっては所有者の意向から特定の不動産会社が仲介することがあり、その場合は不動産会社が物件について良く知っているため心配は無いかと思いますが、その他の物件については、宅建協会長野支部様に御協力いただいております、特に松代地区などの重点区域の物件は担当する不動産会社が決まっています。</p> <p>つきましては、宅建協会長野支部様の総会や研修会の中で、今の御意見をお伝えし、意思疎通を図って参りたいと思います。</p>

(4) 歴まち計画（第二期）の策定について

<p>・説明</p>	<p>事務局：資料4により、『歴まち計画（第二期）の策定について』説明。</p>
<p>・意見 (委員)</p>	<p>「文化財保存活用地域計画の策定」について、歴史的観点の自然地形に関しては、地質や地学の専門家の専門的な知識が必要な項目である。この点を疎かにすると長野市の良さが全て抜けてしまうので、人材面を充実し、力を入れていただきたい。</p>
<p>・回答 (市)</p>	<p>策定協議会委員もそうですが、市内部体制としても地質、地学専門の学芸員を交えて検討して参ります。</p>

(5) その他

7 閉 会